

6月を振り返って…

例年とはまったく違った、学校の始まりでしたが、この1ヶ月、幼児児童生徒の皆さんは、感染症対策を徹底して、毎日元気に登校し、元気な笑顔を見せてくれています。常日頃からの、ご家庭からのご協力・ご支援のたまものです。本当にありがとうございます。本校でも、6月1日の学校再開、寄宿舎開舎、そして6月2日の各学部入学式を皮切りに、各学部それぞれが、感染防止策に取り組みながら、子どもたちと楽しい時間を過ごしています。この一月を振り返って、何点かご紹介しますと…

【高専部機械システム科 教育長にフェースシールドを寄贈】



機械システム科の生徒たちが、6月8日県庁を訪問し、製作に携わったフェースシールドを、県教育委員会の伊東昭代教育長に贈呈しました。贈呈した165個が県立の高校や特別支援学校に届けられ、保健室の先生方などに使ってもらっています。

他の学校の保健室の先生からは「丁寧に仕事されており、細部にも安全性への配慮がある」「シールドの透明度が高く、市販のものより使いやすい」など感謝の言葉をいただいています。

生徒の皆さん、ほんとうにお疲れさまでした。

【専攻科マスクケースを後輩たちに!】

専攻科の生徒たちが、マスクをはずしたときに、落したりなくしたりしないように、ということで、幼稚部・小学部の幼児児童のために、マスクケースを作ってくれました。教頭先生が写っていますが笑

熱中症予防で、授業中にマスクを外したり、体育の授業に行くときなど、マスクケースが大活躍しています。おにいさん、おねえさん、ありがとうございます!



【お知らせ:リーフレットを参照ください】

仙台市消防局より「NET119緊急通報システム」の案内がありました。聴覚や発話に障がいがある方が携帯電話・スマートフォンを使い、素早く119番通報することができるサービスです。仙台市以外にお住まいの方は、お住まいの地域の消防本部で登録することができます。事前に登録が必要になりますが、もしもの時に役立つものですので、ご案内いたします。お子さまを通じてリーフレットをお渡ししますので、利用についてぜひご検討ください。

【最後に:ペースは少しゆっくり目で!】

～大切なのは「楽観性(深刻に悩んだりせず、物事をよい方に、気楽に考えること)」と「笑い」!??～

例年は約1ヶ月の夏休みも、今年は8月6日から19日までの2週間となり、7月いっぱい授業になります。幼児児童生徒、教員ともに乗り切っていくためには「頑張りすぎは禁物!」です。くれぐれも無理はせず、時には一休みしながら、健康第一で過ごしたいものです。「新しい生活様式」のもとでの生活が続きますが、免疫力を高めることも健康維持の秘訣です。免疫力を高めるには、①適度な運動、②バランスのよい食事、③体を温める、の他に、④楽観性、⑤笑い、がポイントだそうです。皆さん、たくさん笑っていきましょう!